

ひがしどおり

No. 2 6

# 議会だより



## 主 な 内 容

- ◆ 9月定例会…………… 2～3 P
- ◆ 一般質問…………… 4～5 P
- ◆ 臨時会・全員協議会…………… 6 P
- ◆ 委員会・視察研修等…………… 7 P
- ◆ 議会の動き…………… 8 P

平成20年10月31日

発行 東 通 村 議 会

編集 教育民生常任委員会

# 第3回定例会開かれる

平成二十年東通村議会第三回定例会が九月四日から十日までの七日間の会期日程で開かれました。

定例会には村長より、人事案件三件、報告案件三件、条例案件二件、決算認定案件二件、補正予算案件六件、契約案件一件、合計十七案件、議会から陳情二件、議員発議三件が提出され、全日程、全議案が原案どおり可決されました。

開会初日は、会議録署名議員の指名、議会運営委員長報告後に会期を決定。村長提出議案について提案理由の説明を求め、議員提出議案の説明の後、陳情二件を所管の委員会に附託、五日から八日まで議案熟考のため休会として散会。

九日は、川村隆議員、花部悦男議員による一般質問が行われ、続いて人事案件三件、報告案件三件、条例案件二件を審議。

十日は、決算認定案件二件、補正予算案件六件、契約案件一件、議員提出議案一件を審議。陳情二件については所管の委員会報告後議事日程を追加し、議員発議二件を審議後閉会。

## ◎ 人事案件

○東通村教育委員会委員の任命に關し同意を求めることに  
ついて

現委員の川畑修二氏は、十二月一日をもって任期満了となり、引き続きその任に当たって頂くため再任となりました。

○東通村教育委員会委員の任命に關し同意を求めることに  
ついて

現委員の鈴木眞治氏は、十二月一日をもって任期満了となり、引き続きその任に当たって頂くため再任となりました。

○人権擁護委員候補者の推薦  
について

現委員の松木成雄氏は、十二月三十一日をもって任期満了となり、引き続きその任に当たって頂くため推薦となりました。

## ◎ 報告案件

○平成十九年度東通村一般会計継続費精算報告書

平成十八年度から継続予算で進めてきた統合中学校の建設事業が完了。支出額が確定したので、法の規定により報告するものです。

○平成十九年度東通村一般会計等の決算に基づく健全化判断比率

○平成十九年度東通村公営企業会計の決算に基づく資金不足比率

以上の二件は、地方公営企業や地方公社、第三セクター、広域行政事務組合等を含めた地方自治体行政活動規模の拡大と多様化、加えて、全国的に普通会計以外の財政悪化が自治体財政に影響を与える事例も発覚したことから、自治体財政全体の評価を可能とする指標の公表が、法的に義務化された。公表に付されるのは、自治体全体に関わるものが四指標、公営企業に関わるものが一指標となっており、具体的には、前者が、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率そして将来負担比率であります。また、後者が、平成十九年六月に「地方公営企業の財政の健全化に関する法律」として公布され、これまで「地方財政再建促進特別措置法」が五十年



ぶりに改正されたものです。法の定めにより、公表すべき五つの指標について、去る八月七日、監査委員の審査に付した結果、いずれの指標も早期健全化基準を下回り、その意見書を議会に報告するものであります。

## ◎ 条例案件

○東通村体育館条例の一部を改正する条例

開校した村立南部中学校の体育館を学校教育施設の有効活用と村全体の社会体育環境の向上を図ることを目的に、現在の「東通村体育館」に「東通南地区体育館」を加え、条例整備する改正です。

○東通村保健師確保奨学金貸与条例を廃止する条例

県派遣の駐在保健師引き揚げに伴い、村職員保健師を確保する必要性があったため制定されたものであり、保健師確保も計画的に進められており、廃止するものです。



## ◎決算認定案件

○平成十九年度東通村一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

一般会計は、歳入総額、百九億七千四百八十九万二千五百十六円、歳出総額、百八億三千五百七十七万二千二百二十二円、差引き一億三千九百八十二万二千二百九十四円の剰余金を生じています。

国民健康保険特別会計は、歳入総額、十億三千七百六十万五千二百十四円、歳出総額は、十億三千三万二千三百一円で、差引き七百五十七万二千九百十三円の剰余金、老人保健特別会計は、歳入歳出総額とも、六億八千七百五十三万三千八百七十九円、介護保険特別会計は、歳入総額、五億三千八百八十七万七千二百円、歳出総額は、五億二千八百二十一万六千六百十九円、差引き千六百六十六万四千四百一円の剰余金、下水道事業特別会計は、歳入歳出総額とも、四億三千五百八十八万三千二百九円となりました。

○平成十九年度東通村水道事業会計決算の認定について  
収益的収入は、税抜きで四億七千七百六十六万四千六百十八円、収益的支出は、四億六千三百三十三万三千八百九十円で千八百三十三万七千二百二十八円の純利益を生じております。

資本的収入は、税込みで一億八千四百九万五千八十円、資本的支出は、三億六千八百五十四万八千九百六十四円で、不足額の一億八千四百四十五万三千八百八十四円は、当年度分消費税資本的収支調整額五十三万六千四百円及び過年度分損益勘定留保資金二千三万九千三百七十九円と当年度分損益勘定留保資金一億六千三百八十七万八千五百五円で補填対応しております。

## ◎補正予算案件

○平成二十年度東通村一般会計補正予算（第三号）

当初予算編成時に不確定であった事務事業等について補正するものであり、既定額に三億千六百七十八万千円を追加。予算総額を歳入歳出それぞれ百三億五千二百九十九万千円とするものです。

○平成二十年度東通村国民健康保険特別会計補正予算（第二号）

国民健康保険被保険者証の個人カード化に伴う、国保滞納管理システムプログラム修正委託料及び退職被保険者等療養費に不足が見込まれることから、四十三万二千円を予備費から充当するものです。

○平成二十年度東通村老人保健特別会計補正予算（第一号）

平成十九年度医療費交付金、審査支払基金交付金、国及び県負担金の確定に伴い、それぞれ追加交付及び返還が生じ、また、老人医療費が当初予算を上回る見込みであることから、既定額に五百万円を追加。予算総額を歳入歳出それぞれ七千五百万円とするものです。

○平成二十年度東通村介護保険特別会計補正予算（第一号）

平成十九年度の介護給付費、地域支援事業費の確定に伴い、国・県並びに社会保険診療報酬支払基金に返還が生じ、また制度改正により、介護保険被保険者証等の様式改正に係る事務費が発生したことから、既定額に千九百五十六万八千円を追加。予算総額を歳入歳出それぞれ六億千九百五十六

万八千円とするものです。

○平成二十年度東通村下水道事業特別会計補正予算（第一号）

下水道未普及地域の早期完成目標計画に伴い、汚水処理施設整備計画の再編に係る委託料の計上、小田野沢漁業集落環境整備事業費の委託料の減額に伴い工事請負費を増額、また地方消費税確定申告により納付額を計上、その結果、既定額に百四十五万九千円を増額。予算総額を六億百四十五万九千円とするものです。

○平成二十年度東通村水道事業会計補正予算（第一号）

岩屋地区配水管改良工事に伴い、収益的収入及び支出の既定額にそれぞれ百六十万と百六十八万円を追加。予算総額をそれぞれ四億七千万三千円と三億九千五百三十九万千円とするものです。

## ◎契約案件

○物品の購入について

消防用小型動力ポンプ付積載車購入事業であり、配置年度が十五年以上の老朽化した小型動力ポンプ付積載車を更

新するため、今年度は下田屋地区に配備する予定であり、去る八月二十五日に指名競争入札に付したところ、千五百二十五万五千円をもって、有限会社丸栄消機に落札したので、本契約を締結するものです。

## ◎陳情書

○陳情第六号 保険業法の制度と運用を見直し自主的な共済の保険業法の適用除外を求める陳情書

○陳情第七号 医師・看護師等を増やすための法改正、財政措置を求める陳情書【採択】

## ◎議員提出案件

\*発議第五号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

\*発議第六号 自主的な共済制度を新保険業法の適用除外にすることを求める意見書

\*発議第七号 医師・看護師等を増やすための法改正、財政措置を求める意見書

以上三意見書は、内閣総理大臣はじめ関係大臣に提出。

# 一 般 質 問

9月9日の本会議において、2人の議員が一般質問を行いました。  
主な質問内容を紹介します。

【質問者】 川 村 隆 議員  
花 部 悦 男 議員



川 村 隆 議員

## 村内の企業誘致について

### 【質問】

雇用の場所が無く、若者が都会に流出されている状況であります。これは、村内に働く場所がないため、村外からの居住に期待ができない要因の一つであると思う。

村長にはあらゆる機会を捉えて、全力で企業誘致に取り組んで欲しい。

### 【答弁者・村長】

企業の立地状況は、石灰石を活用採掘している日鉄鉱業セメント製造業の東北開発（現在は三菱マテリアル）、エコパワー、ユーラスエナジーが風力発電所を建設し、雇用面も含め、広く地域の経済に貢献している。

企業の立地は地域に元気を与え、若者の定住に繋がるこ

とから、県や市町村は企業が立地しやすい環境整備に取り組んできたが、地理的条件や人材育成の遅れなどにより、恒常的に企業の集積が進まないのが現実と思う。

国は、平成十九年六月に企業立地促進法を時限立法としてスタートさせ、地域による企業立地・促進等の取り組みを支援し、基盤強化を図ることとしている。

しかし、遠隔地、広大な未利用という地理的条件を活用した原子力発電所が村として最大の企業誘致であるものと認識している。

雇用の拡大と人口の増加については、村政の重要施策として、定住促進を実現するため、保健・医療・福祉環境を整え、教育環境に積極的に整備・促進している。

将来に向けた人材育成についても学力向上のため、学習塾の運営と村独自の教師の配属等を行い、少子化対策の一環としての乳幼児医療費と妊婦検診や予防接種などに支援を実施しており、着実な生活基盤整備の促進と人材の育成が結果として実を結ぶものと考えている。雇用と地元活用については両電力に対し、引き続き後続号機の計画に沿っ



た建設と合わせ、原発関連企業の村内誘致についても、今後一層の努力を強く要請して参りたい。

### 【再質問】

若い方々の就職活動のためにも企業誘致に全力で取り組んで欲しい。

### 【答弁者・村長】

様々な機会を通じ、企業誘致を働きかけたい。

## 小田野沢漁港背後地道路整備について

### 【質問】

小田野沢漁港背後地、通称「船小屋屋敷」の道路整備について

背後地には、住宅の建設が進み、村道も含まれており、生活関連道路として、整備をお願いする。

### 【答弁者・村長】

現在、船小屋屋敷用地として利用されており、小田野沢漁港の整備が進み、船小屋としての利用頻度は低くなっているのが現状である。

道路整備については、今後の住宅建設状況の推移を見極め、地元と十分協議の上、生活関連道としての整備に取り組んで参りたい。

### 【再質問】

漁業補償交渉時の村両電力が漁協に対しての約束された二十一項目の振興策の一つでもあり、実現に向け努力されることをお願いする。

### 【答弁者・村長】

地元の住宅状況、建設状況とも見極めながら組合、部落会と連絡を密にし、進めて参りたい。







花部悦男議員

## 村政の諸課題に対する今後の取組みについて

### 【質問】

(一) 原子力発電所との共生について

供給計画によれば、東京電力一号機は毎年のように着工が繰り延べされており、本年四月にも更に一年延期された。

事業者による度々の着工繰り延べは、行財政計画においても大変憂慮されるものであり、村当局としても事業者に對して、強い態度で向かっていく考えはないか。

### 【答弁者・村長】

東京電力一号機は、昨年の新潟県中越沖地震の発生に伴い、原子炉等の耐震安全性に関する国の安全審査が長引いていることから、本体着工並びに営業運転開始が一年繰り延べされた。

四月十四日の村議会全員協議会においては、東京電力は

「安全審査の状況を見極めていたことから、一年の繰り延べることになり、安全を第一に適切に対応し、一日も早い計画の推進に努めて参る」との説明を受けたが、当村は、

村民からの強い要請により市町村合併に参加せず、原子力発電所との共生による単独での行政運営を選択したものであり、度々の建設計画の繰り延べは大変憂慮されるものである。私としては、村議会のご協力を賜りこれまで以上に、計画繰り延べのないよう事業者に對し、一層強い態度で望んで参りたい。

### 【要望】

繰り延べのないように計画どおり、着実に着工・運転開始するよう強く期待する。

### 【質問】

(二) 村の将来を担う次世代の人材育成と第一次産業の振興と雇用の場の確保を一体的に進めるための方策について

教育関係について、本年四月には中学校の一校統合が実現し、来年度は小学校も一校統合される予定となっている。

村長の教育に對する並々ならぬ思いが伺える。

村の将来を担う人材育成は、第一次産業の振興と雇用の場の確保と一体的に進めていくことが、人口の定住に繋がるのではないか。



### 【答弁者・村長】

人材育成に関して総合教育プランの提言を基に、現在、「幼小中一貫教育」を基軸とした「東通学園構想」による人材育成を進めている。

更に、0歳児からの人づくりのための環境を整えるため、保育・幼児教育一体型の施設開設を進めている。乳幼児からの一貫した教育においては、地域の方々の協力を得、村の教育資源を大いに活かし、村の将来を考えることのできる力と郷土愛を育て、東通村の子どもは東通村全体で育てた

いと考えている。

具体的方策としては、東通村の自然や文化・産業などを題材とし、「創造する力」を育む「東通学」を創設する。最終目標として東通村を科学する力を育てる「東通科」を幼小中一貫教育の柱の一つとして新設する。

次に、村の基幹産業である一次産業は農業においては、健康な土づくりを進め、村の気候風土に適した特産農産物の作付け、水産業においては、あわび・平目等「つくり育てる漁業」の一層の推進に努める。

農水産物の生産と所得の向上を図るため、流通販売ルートの確立拡大が不可欠であり、その体制づくりに職員を販売施設の先進地に研修派遣するなど、準備を進めている。良いものを高く売るためには、「東通の安全安心、農水産物のブランド化」が不可避であり、ブランド化を確立し、魅力のある一次産業の実現に向け、施策を展開する。

### 【要望】

一次産業について、原油高・資材の高騰、大変厳しい状況下にあり、今後、救済支援策をお願いする。

### 【質問】

(三) 四選出馬について

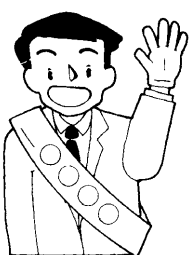
村の抱える課題は山積している。村長には、これまで三期十二年の実績をもって、引き続き村の舵取りを担って頂き、村の将来を託したいと強く願うものである。村長の強い決意と意思をお聞かせ願う。

### 【答弁者・村長】

平成九年村長就任以来、夢や目標のある、村民による村づくりを進めることができたのは、村民は勿論のこと議員各位の絶大なご支援があつたことと思っており、深く感謝申し上げます。

村民が将来に亘って、「原子力発電所を誘致して良かった。」「市町村合併をしないで良かった。」と実感できる村づくりのため、村民の強い負託に応えていかなければならぬものと認識している。

また、様々な課題解決が、今、私に与えられた使命である、ここに強く決意を固めたものであり、ご理解賜りたい。



# 第二回 臨時会

▼ 平成二十年東通村議会第二回臨時会が七月十四日招集され、会期を一日とする日程で開かれました。臨時会には村長より、報告案件一件、契約案件八件が提出され、原案どおり可決されました。

◎（報告案件）専決処分承認を求めることについて

平成二十年東通村一般会計補正予算（第二号）

平成十九年度において予定申告により納付された法人村民税について、確定申告により納付すべき額が決定し、法の定めにより措置するものであり、既定額に千七百二十一万円を追加。予算総額を歳入歳出それぞれ百億三千六百二十一万円とするものであります。

◎ 村立東通小学校校舎増築工事請負契約について

契約金十二億二千八百五十万円をもって、清水建設株式会社東北支店と請負契約を締結するためのものであります。

◎ 村立東通中学校校庭用庫等建築工事請負契約について



九千五百五十五万円をもって、山内土木株式会社と請負契約を締結するためのものであります。

◎ 村立東通中学校テニスコート整備工事請負契約について  
一億三千六百五十万円をもって、株式会社熊谷建設工業と請負契約を締結するためのものであります。

◎ 村立東通中学校テニスコート周辺外構整備工事請負契約について  
九千二百八万五千円をもって、川端管工土木株式会社と請負契約を締結するためのものであります。

◎ 村立東通中学校校庭用庫等建築工事請負契約について

◎ 柏木山線道路改良工事請負契約について  
九千三百四十五万円をもって、野村建設株式会社と請負契約を締結するためのものであります。

◎ 柏木山線道路構造物工事請負契約について  
一億二千二十五万円をもって、株式会社橋本建設工業と請負契約を締結するためのものであります。

◎ 沢内川河川改修（上流側）工事請負契約について  
五千二百五十万円をもって、株式会社川村建設と請負契約を締結するためのものであります。

◎ 沢内川河川改修（下流側）工事請負契約について  
五千九百九十七万五千円をもって、株式会社リバー建設と請負契約を締結するためのものであります。



## 全員協議会

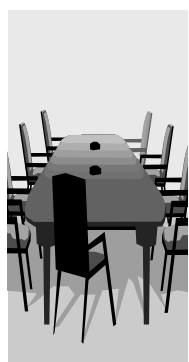
★ 九月一日（月）

午前十時、村庁会議場にて  
（協議案件）

○ 平成十九年度東通村一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・下水道事業特別会計歳入歳出決算概要について  
○ 平成十九年度東通村水道事業会計決算概要について

○ 平成十九年度東通村一般会計等の決算に基づく健全化判断比率  
○ 平成十九年度東通村公営企業会計の決算に基づく資金不足比率

各会計の決算概要については、吉澤収入役の決算総括の説明に続き、南谷会計管理室長から財産状況等事項別の説明、二本柳水資源サービス課長から水道事業会計、田中経営企画課長から健全化判断比率及び資金不足比率について説明がなされ、その後、質疑が行われ閉会しました。





# 委員会から

## ▼ 常任委員会

### ☆ 総務企画常任委員会

《七月三日（木）  
午前十時開会》

＊（仮称）村道柏木山線・沢内川河川事業計画に係る財産処分について

中心地区整備に伴う交通量の増加に対応する重要な路線として整備。又、東通中学校建設事業に伴い、河川沢内川の一部改修も合わせて整備を行うとのことでした。又、工事等に係る土地について、支障となる立木の財産処分を東通村森林組合との随意契約により進めたいとのことでした。これを受け、慎重審議の結果、村当局の原案を全会一致で了承しました。

### ☆ 教育民生常任委員会

《九月四日（木）  
午前十時三十三分開会》

＊「保険業法の制度と運用を見直し自主的な共済の保険業法の適用除外を求める陳情書」

保険業法改正により、健全

に運営されてきた共済制度が存続の危機に迫り込まれています。法改正の趣旨は、マルチ共済を規制し、消費者を保護することが目的であり、一律に様々な規制と負担を押し付けることは、法改正の趣旨に反するとの観点から、採択すべきものと決しました。

＊「医師・看護師等を増やすための法改正、財政措置を求める陳情書」

いま医療現場の実態は、かつてなく過酷になっており、人手不足が深刻化しています。医療事故をなくするためにも、医療現場での大幅増員を保障する医師・看護職員等の確保対策を抜本的に強化する対応が必要であるとの観点から、採択すべきものと決しました。

### ☆ 産業建設常任委員会

《九月二十二日（月）  
午前九時開会》

＊水稲の作柄状況について  
＊ふれあいの森整備活動事業について

「水稲の作柄状況について」は、今年の村内の出穂始めは八月四日、出穂最盛期は、同年と同様八月十二日、出穂終期は八月十七日とのことでした。

た。水稲展示圃の生育状況としては、展示圃の出穂期・稈長・穂長は平年並みで、一穂粗数・平方メートル粗数は平年より多かったとのことでした。また、九月十六日現在の登熟は、九月に入ってから的高温・多照のため、極めて順調であったとのことでした。

次に「ふれあいの森整備活動事業について」は、区域を野牛第一国有林とし、村内有数のヤマツツジなど、貴重な植物の保全活動を通し、今後、村民にふれあいの場を提供するため、下北森林管理署と「ふれあいの森における森林整備等の活動に関する協定書」を締結してきた。現在の協定が今年度をもって終了することから、再度協定を締結し、計画的に笹などの除伐を実施したいとのことでした。

これを受け、引き続き水稲の作柄状況とふれあいの森整備活動事業に係る片崎山の現地視察を致しました。



# 視察研修等

## 《県議会建設委員会の 白糠バイパス調査》

去る七月二日（水）、県議会建設委員会、越前陽悦委員長他委員七名の一行が、白糠バイパス工事現場調査のため、来村。工事現場にて、村当局、正副議長、産業建設常任委員長立会いのもと、一日も早い白糠バイパスの早期完成に向け強く意見を述べ、村・議会連名による要望書を提出いたしました。

## 《下北林活議員連盟》

去る七月三日（木）「森林・林業・林産業活性化推進下北地域市町村議会議員連盟」定期総会が、下北地区市町村議会議員合同研修と併せ、むつグランドホテルで開催されました。

## 《県下町村議会 議員研修会》

去る七月十七日（木）青森市民ホールで開催された県下町村議会議員研修会は、講師に政治評論家、屋山太郎氏を迎え、「これからの日本の政局はどう動くか」と題し、講演をして頂きました。

## 《第六回全国原子力発電所立地議会サミット》

去る、八月二十五日から二十七日までの日程で、四百十三名の多数参加のもと、東京品川プリンスホテルで開催された、第六回全国原子力発電所立地議会サミットに参加いたしました。第一日目は「我が国のエネルギー供給における原子力の役割と責任」と題し、原子力委員会委員長による基調講演と五つの分科会を行い、二日目は、各分科会報告全体会が行われました。



## 第6回議会サミット

## 議会の動き



|    |     |                                  |
|----|-----|----------------------------------|
| 7月 | 2日  | 青森県議会建設委員会白糠バイパス調査               |
|    | 3日  | 総務企画常任委員会                        |
|    |     | 森林・林業・林産業活性化議員連盟総会               |
|    | 14日 | 議会運営委員会・第2回臨時会                   |
|    | 15日 | 青森県に対する重点要望説明会                   |
|    | 16日 | 県下町村議会議員研修（～17日）                 |
| 8月 | 29日 | 六ヶ所村議会・横浜町議会との交流会                |
|    | 25日 | 第6回全国原発立地議会サミット（～27日）            |
|    | 28日 | 県原子力施設環境放射線等監視評価会議監視委員会          |
| 9月 | 29日 | 議会運営委員会                          |
|    | 1日  | 議会全員協議会                          |
|    | 4日  | 村議会第3回定例会招集・教育民生常任委員会・東電原発サイト内視察 |
|    |     |                                  |
|    | 9日  | 議会本会議（～10日）                      |
|    | 22日 | 産業建設常任委員会                        |
|    | 25日 | 町村議会広報研修会                        |

### 編集後記

平成二十年九月第三回定例会  
が四日開会され、提出議案十七  
件、陳情書二件を採択。議員発  
議三件を議決。十日閉会しまし  
た。

総務企画常任委員会に引き続  
き、教育民生常任委員会が七月  
から九月までの議会の動きをま  
とめてみました。

今後も引き続き、議会の役割  
として、公正で、客観的な記事、  
地域住民に親しまれる、読みや  
すい、わかりやすい議会だより  
づくりに努めますので、村民皆  
様の暖かいご指導、ご協力をお  
願い申し上げます。

次回は、産業建設常任委員会  
の担当です。

### 行政・議会の生の声を傍聴してみませんか？

○定例会は、年4回（3月、6月、9月、12月）開かれます。

○臨時会は、必要に応じて開かれます。

お問い合わせは、議会事務局（☎ 27 - 2111 内線 412・413）

